

## 平成 30 年度 抛出委託単価について

平成 30 年 12 月 14 日  
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

### ● 「抛出委託単価」算出の計算式

$$\text{抛出委託単価⑤} = \frac{(\text{①想定額} - \text{②「現に要した費用」の見込金額}) \times 1/2}{\text{④特定事業者からの再商品化委託申込量の総量}}$$

市町村への合理化抛出金は、想定額よりも「現に要した費用」が下回ってはじめて抛出されます。

<平成 30 年度 抛出委託単価の算出根拠> (単価・金額共 消費税抜き)

		①想定額※ (円)	②「現に要した 費用」の見込額 (円)	③ = (① - ②) × 1/2 合理化抛出金 の見込額 (円)	④再商品化 委託申込 見込量 (トン)	⑤平成 30 年 度 抛出委託 単価 (円/トン)
ガラスびん	無色	485,109,294	497,650,048	-12,540,800	153,400	0
	茶色	502,825,046	504,830,490	-2,005,400	115,600	0
	その他	903,068,947	927,732,255	-24,663,300	103,300	0
PET ボトル		195,957,912	240,426,001	-22,234,000	264,200	0
紙製容器包装		19,841,469	17,825,000	1,008,200	34,300	100
プラスチック製容器包装		31,797,052,970	32,161,080,000	-364,027,000	871,900	0

\* 合理化抛出金の見込額、再商品化委託申込見込量、抛出委託単価は端数調整しています。

\* PET ボトルの合理化抛出金について、平成30年度は発生しない見込みです。逆有償分の単価および引き取り見込み量の増加によるものです。平成30年1月からの使用済みPETボトルの中国禁輸も要因の1つと考えています。

\* プラスチック製容器包装の合理化抛出金について、平成30年度は、平成29年度の合理化抛出金と同様に発生しない見込みです。平成30年度におきましても、平成29年度と同じ「想定単価」（3年に1度変更する規則）を使用しており、平成26年～平成28年に使用した想定単価と比較し顕著な低下が見られるためです。

### ※平成 30 年度 想定額の求め方 (「想定単価」×「想定量」)

		想定単価 (円/トン)	想定量 <sup>注</sup> (トン)	想定額 (円)
ガラス びん	無色	4,551	106,594.000	485,109,294
	茶色	5,042	99,727.300	502,825,046
	その他	7,221	125,061.480	903,068,947
PET ボトル		972	201,602.791	195,957,912
紙製容器包装		918	21,613.801	19,841,469
プラスチック製 容器包装	材料リサイクル(トレイ)	40,417	408.211	31,797,052,970
	材料リサイクル(トレイ以外)	54,191	387,037.691	
	高炉還元剤化	36,579	36,065.947	
	コークス炉原料化	43,243	165,856.434	
	合成ガス化	37,149	62,322.236	

注) 想定量は特定事業者負担分のみ。

(参考1) 平成29年度抛出委託単価について

<平成29年度抛出委託単価の算出根拠> (単価・金額共 消費税抜き) (総額見込: 36,599,600円)

		①想定額※ (円)	②「現に要した 費用」の見込額 (円)	③ = (① - ②) × 1/2 合理化抛出金 の見込額 (円)	④再商品 化委託申 込見込量 (トン)	⑤平成28 年度抛出委 託単価 (円/トン)
ガラスびん	無色	487,852,409	476,864,000	5,494,200	150,400	100
	茶色	523,491,095	511,705,000	5,893,000	110,100	100
	その他	897,615,214	946,598,000	-24,491,400	108,800	0
PETボトル		191,867,354	144,457,974	23,704,700	279,100	100
紙製容器包装		20,214,326	17,199,000	1,507,700	32,200	100
プラスチック製容器包装		31,483,196,738	31,877,654,000	-197,228,500	819,700	0

\* 合理化抛出金の見込額、再商品化委託申込見込量、抛出委託単価は端数調整しています。

(参考2) 平成29年度合理化抛出金実績 (平成30年9月21日支払い分)

	想定単価 (円/ト ン)	想定量 (トン)	①想定額 (円)	②現に要した費用 (円)	③差額 (円) (① - ②)	合理化抛出金 (円) ③ ÷ 2
ガラスびん (無色)	4,551	107,196,750	487,852,409	472,223,730	15,628,679	7,814,340
ガラスびん (茶色)	5,042	103,826,080	523,491,095	495,740,620	27,750,475	13,875,238
ガラスびん (その他の色)	7,221	124,306,220	897,615,214	986,867,659	-89,252,445	0
PETボトル	972	197,394,398	191,867,354	168,088,417	23,778,937	11,889,469
紙製容器包装	918	22,019,964	20,214,326	17,665,248	2,549,078	1,274,539
材料リサイクル (トレイ)	40,417	464,913	18,790,388	17,021,759		
材料リサイクル (トレイ以外)	54,191	332,781,160	18,033,743,841	17,141,566,888		
高炉還元剤化	36,579	36,004,070	1,316,992,876	1,372,338,641		
コークス炉化学 原料化	43,243	214,603,020	9,280,078,393	10,646,107,067		
合成ガス化	37,149	76,276,380	2,833,591,240	2,661,555,130		
プラスチック製 容器包装 (計)	-	660,129,543	31,483,196,738	31,838,589,485	-355,392,747	0
合計	-	-	-	-	-	34,853,586

以上